



ワムタウン広場

WAM Town Open Space!

発行 ワムタウンネットワーク推進協議会
〒359-1152 埼玉県所沢市大字久米532番地1
TEL 04-2997-5510 FAX 04-2992-5544
http://www.wam-town.jp/ E-mail:koho@tl-wam.or.jp

協力 医療法人啓仁会
医療法人昭仁会
社会福祉法人栄光会
医療法人社団紫雲会

WAM TOWN

5月

第95号 2016年/平成28年5月1日(日)

あきつやまゆり保育園 開園しました

社会福祉法人栄光会 あきつやまゆり保育園 (埼玉県所沢市)

4月1日、桜が咲く中入園式が行われ、あきつやまゆり保育園の歴史がスタートしました。

本園は所沢駅から徒歩10分の通勤に便利な立地に建てられた法人二つ目となる認可保育所で、定員100名です。

未来を担う子どもたちが笑顔にあふれ、心身ともに健やかに成長できるよう、次のことを主眼に保育を行ってゆきたいと思えます。

- 1 すすんで明るく元気なあいさつができる。
- 2 法人の運営する高齢者施設などとの様々な交流を通し、豊かな感性、創造性、自主性、社会性を育てる。
- 3 お年寄りや身近な人、友達を大切に思い、感謝の気持ちを育てる。
- 4 人との関わりの中で時には我慢する気持ちを持ち、「ありがとう」「ごめんね」が言える優しい心を大切に育てる。

園舎は黄色と緑を基調とした2階建てで、1階に一時・休日、0歳児、1歳児、給食室、事務所があります。2階は2歳児、3、4、5歳児の保育室があります。3、4、5歳児の保育室は可動式の壁になっていて、つなげると広いホールとして使用できます。

2階部分が大通りと同じ高さなので、通る人たちの視線を感じます。

園庭は塀に面していて、うんてい、鉄棒、砂場、滑り台などがあります。

さて、初年度は0歳児9名、1歳児16名、2歳児14名、3歳児7名、4歳児2名、5歳児2名の計50名でのスタートとなりました。慣らし保育が始まり、賑やかな毎日です。



竣工式当日は素晴らしい天気にも恵まれました(正面玄関)



入園式は先生の歌と笑顔でお迎えです

すが、少しずつ日々色々なことが泣かずにできるようになってゆく子どもたちを見てみると、これからの成長がとても楽しみです。

職員全員で心を一つにして子どもたちの幸



お部屋の中はまだ木の香りが残っています

せと保護者の安心を常に考え保育していきたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。

園長 野原 美紀

ロイヤル・ワム・タウン 写真館 vol.4

社会福祉法人 栄光会 ロイヤルの園居宅介護支援事業所 (埼玉県所沢市)
主任介護支援専門員 千葉 昇二



静かにたたずむ

埼玉県所沢市城という場所には「滝の城公園」という場所があります。1180年頃より城があった場所で、いくつもの戦乱を乗り越え今もその面影を残しています。天守跡には城山神社が祀られています。鎌倉時代前後の古典的な山城で、斜面を利用した城壁跡に不動明王、童子など1840年代頃につくられた石像が静かにたたずんでいます。この像もその中の一体で、とても穏やかな表情で心奪われるものがありました。

同じ場所で風雪に耐え170年以上の時間に思いを馳せました。

5月後半には、「戦国滝の城祭り」が毎年

開催され、武者行列や地域の名産物の販売など家族で楽しめるイベントがあります。

*所沢市ホームページ

<https://www.city.tokorozawa.saitama.jp/iitokoro/event/main/omaturi/takinojomaturi2016.html>

カメラ：Canon 6D

レンズ：Canon EF24-105 mm F 4L USM

絞り：F4.0

シャッター速度：1/125

ISO感度：800

マニュアル撮影

郷土食

医療法人昭仁会 介護老人保健施設 四季の里 (埼玉県新座市)

四季の里では郷土食として日本全国47都道府県の郷土料理を月に一回ご利用者様に提供しています。9回目となった今回は神奈川県で人気の「よこすか海軍カレー」をいただきました。

子供から大人まで幅広い層で人気のカレーです。今、日本人が一般に食べている「カレーライス」は、インドのカレーではなく、イギリスで生まれたカレーであることをご存知でしょうか。

イギリス人の船乗りが航海中に「シチュー」を食べたいと思ったところ、長持ちしない牛乳のかわりに日持ちのする香辛料(カレーパウダー)を使った料理、すなわち「カレー」を考案しました。これがイギリス海軍の「軍隊食」として定着していったのです。明治時代の日本海軍はイギリス海軍を模範としていました。食事についても、栄養バランスがよく調理が簡単なカレーに注目して、艦艇でのメニューに取り入れたのです。当初は、イギリス水兵と同じようにカレーをパンにつけて食べていましたが、これではどうも力がでないということで、小麦粉を加え、とろみをつけてごはんにかけて食べたところこれがおいしい大発見！以後、日本海軍の軍隊食として定着していきました。

日本海軍の「軍隊食」となったカレーライスは、故郷に帰った兵士たちによって全国に広がっていきました。横須賀は海軍の発祥以来、海軍とともにあゆんできた街であり、カレーは横須賀から全国に広がったといっても過言ではありません。

ちなみに、今でも毎週金曜日の昼食は、北海道から沖縄まで4万5千人の海上自衛隊員が一斉に「カレーライス」を食べるそうです。

また、「よこすか海軍カレー」はカレーライスとサラダと牛乳をセットにさせていただくことが原則で、カレーの街横須賀の認定店だけが名称使用を許可されているそうです。5月には横須賀で「よこすか海軍カレー」フェスタを行うなど、大人気のお食事です。

召し上がっていただいたご利用者様は皆さん笑顔で「とても美味しい!」、「全国制覇するまでは頑張らなきゃね。」との声が聞かれ、食事も元気の源となっています。

4F ケアワーカー 矢部 千浪



今回で9県目の郷土食が登場です



利用者様にも好評でした



神奈川・横須賀の海軍カレーです

退院調整看護師が配置されました

医療法人啓仁会 平成の森・川島病院 (埼玉県川島町)



有吉 退院調整看護師師長

4月1日より退院調整看護師として勤務しております有吉みゆきです。

これまで地域医療連携室にはMSW 5名が配置されていましたが、より多様な患者様への対応や

看護師としての視野を活かした支援を行うために退院調整看護師が配置されました。

3月31日まで訪問看護ステーションで勤務しており、訪問看護、ケアマネージャーを含め18年間在宅にかかわらせていただきました。

その中で感じてきたことは、病院と地域の連携のための在宅移行支援の重要性でした。入院されていたときは医療の面で管理され安定しているため在宅サービスに目が向けられていないことを感じていました。医療面での継続的なサービスが入っていないため、状態が悪化してからあわてて訪問看護導入というケースやサービスが入る前に再入院というケースが多くありました。それは入院中からの病院と地域の連携不足や理解不足が大きな理由と思われる。

国の方針にもあるように地域包括ケアは増々重要となってきています。在宅でその人らしく安心して生活していけるようにするため、患者様が自分の病気や障害を理解し、退院後も継続が必要な医療や看護を受けどこで療養するか、どのような生活を送るかを自己決定するための支援。またそのために患者様・ご家族様の意向を踏まえて社会資源につなげていけるような支援をしていくことが退院調整看護師の役割とっております。

まだまだ未知の部分も多く試行錯誤しながらも在宅生活が長く続けられるよう支援していきたいと思っております。

今後ご指導ご鞭撻をどうぞよろしくお願いいたします。

地域医療連携室 師長 有吉 みゆき

シンボルツリーの植え替えを行いました

医療法人啓仁会 平沢記念病院 (埼玉県所沢市)

少し前の話になるのですが、病院入口にあるシンボルツリーが新しくなりました。この病院の歴史を長い間見守ってくれた木ですが、枯れてしまったために植え替えを行いました。新しいシンボルツリーはモミの木です。クリスマスツリーとして知られているモミの木ですので、大きな木を想像していましたが実際に植えられると・・・正直なところアレ?と思ってしまう小さな木でした。説明によると、小さな木を植え育てて根づかせていくという事ですので、これから愛情をかけ

て大きく育てていきたいと思っております。数年後のクリスマス時期に、大きくなったモミの木へ電飾をつけて立派なクリスマスツリーが出来るのが楽しみです。

当院は3月に院長の交代があり、新しく井川院長が就任されました。新しいシンボルツリーの成長と共に、新体制となった平沢記念病院もさらなる発展を目指したいと思っております。

平沢記念病院 総務課 龍前智彦



新しく植えられたシンボルツリー

発達障害について

医療法人啓仁会 平成クリニック(埼玉県所沢市)

1 はじめに

最近、精神医学界で地震が起きています。地震と感じていない精神科医も多いと思いますが、私は大きな地震と思っています。

発達障害がここ数年日本でも非常に注目されています。欧米では大分前から注目されており、様々な角度から書物が出ていたようでした。

日本でもこの数年は爆発的に情報が集積されて来ている状況です。発達障害には自閉症の系列のアスペルガーと ADHD と学習障害が主なものです。

2 私の立ち位置

発達障害は基本的に子供の病気です。ですから、「我々は子供の病気が分からないから子供の先生のところに行って下さい」、で済ませていました。ほとんどの精神科医はそんなスタンスだったと思います。しかし、近年「大人の発達障害」なる概念が出て来て、我々も専門外ということでは済まされなくなってきました。そうは言っても、今から専門家になることは無理です。多少勉強して、専門家きどりをするほど厚かましくありません。専門家である〇〇先生のところに行きなさいと言いたいところですが、その道の専門家が少な過ぎて、受診出来るのは半年後というところが殆どです。こうした現状の中で、「私は専門家とは言えませんが、専門家が少ないので、取り敢えずここで出来る範囲で診断・治療をしましょう」という形で関わって行かざるを得ないと考えていますというのが、私の立ち位置です。

3 アスペルガー症候群(自閉症スペクトラム障害)

アスペルガーの人はコミュニケーションが苦手ですが、好きなことには抜群な集中力を示します。受験勉強などが得意だと最難関を突破することも難しくありません。東大生の中での比率が高いと東大OBの精神科医も言っています。学生時代は面倒見の良い友人が支えてくれて何とか頑張って、卒業後はそんな支えもなく、職場で不応を起こしてしまう形が多いようです。集中力抜群ということもあり、一芸に長じ町工場の有能で頑固な技術者などにも多かったと言われます。産業構造の変化に伴い第3次産業が増えて、コミュニケーション能力が要求される比重が大きくなってきていますので、より不応が目立って来ていると思われる。一般に、耳からの情報が入りにくく、目からのインプットには逆に極めて優れていることが多いようです。碁や将棋の棋譜を全て記憶したり、カレンダー博士と言われたり、時刻

表にやたら詳しくかたりします。逆に、いじめられた記憶などが何時迄も生々しく蘇ったりして苦しむこともあります。アスペルガー症候群に認可された薬はまだありませんが、治験中の薬はあります。現時点では教育的な治療がメインです。

4 ADHD

子供の頃ではほとんど90%は男子の病気、女子には極めて少ないとされて来ましたが、実は大人になれば男女差はないとされるように変化しました。

要するに、男子には多動を伴うことが多くて、女子は注意障害だけの人が多くて子供時代は見逃されてしまうということでした。私が関わった成人女性の患者さんで「授業中に椅子にちゃんと座って居られるなら ADHD ではないですよ」とかつて行政の専門窓口で言われたことがある発達障害の人もいました。注意が定まらないことは欠点にもなり得ますが、いろんなことに興味を持てる能力を持っているとも言えます。普通の人と違う見方が出来る。世の中が順調な時は普通の秀才が役に立つでしょうが、世の中が行き詰まった時普通の秀才は役に立ちません。こういう時は多様な見方、人と違った見方が出来る人が突破口を見いだせるかも知れません。エジソンやアインシュタイン、さらには坂本龍馬なども ADHD が疑われています。治療的には2種類の薬がすでに認可されています。最近では精神科医自ら「発達障害」や「ADHD」であるとカミングアウトする事例が増えてきています。当事者かつ治療者という方々の言葉はより説得力のあるものになりうると思います。

5 学習障害

教育現場で見つかって、そこで対応できているのか、我々の医療現場ではあまり遭遇しません。学習の成果でばらつきが目立つのが特徴です。読字障害(ディスレキシア)のトムクルーズが有名です。台本が読めないのにあれだけの演技が出来るのはおそらく驚異的なものでしょう。アスペルガー症候群などでは耳からの情報が入りにくく、画像などに視覚情報に変えてあげると理解が改善しますが、読字障害では目からではなく耳からの情報が入りやすいという大きな違いがあります。

6 合併例について

つい数年前までの国際分類で、アスペルガー症候群と ADHD の合併はないと決められていました。新しい診断基準では、いや合併はあるということになりました。かつてのドイツ精神医学ではうつ

病と神経症の合併も無いことになっており、果たしてどっちなのかと無駄に長時間議論してました。今ではうつ病とパニック障害、強迫性障害、社会不安障害などのかつての神経症との合併は普通にあることになっています。統合失調症(かつての精神分裂病)とうつ病の合併もかつては無いことになっており、今でいう統合失調感情障害のようなことを言うと異端視された時代もありました。考えてみれば、科学的思考は皆分類から始まるのでしょうか? 先ずは典型例をはっきりさせないと何も見えてこない。ある程度典型例が見えてくると、今度は実はそれらの典型例同士に移行や合併があることが分かるという形で学問は進むことが多いのではないのでしょうか。臨床の現場では結局いろんな要素を持った症例の方が多いのかもしれない。

7 新たな病気とは

かつてパーキンソン病の独特の病理所見(顕微鏡所見)として、脳幹の黒質というところにレビー小体という極めて特徴的な目印が出るというのが医学的常識でした。レビー小体は黒質にしか出ないもの、大脳皮質では見られても少数と思われてきました。ところが、日本の小坂氏は1976年以来、レビー小体は脳の何処にでも見られることがあると、「びまん性レビー小体病」という概念を提唱し世界で認められました。長年、黒質以外のレビー小体は専門家の目にも見えていなかったことになりました。

見る気がない人には見えないわけです。発達障害もこれと全く同様です。昔からあった筈なのに、専門家の目にも止まらなかったわけです。発達障害の情報はまさにうなぎ上りに増えて来ましたが、この数年は増え続けると思います。我々精神科医の目に止まらなかっただけでなく、発達障害による適応の障害を例えば統合失調症などと誤診をして来たことも大きな問題だと思います。身体疾患の診断の決め手である「病理診断」でもレビー小体病のような失敗があり、精神医学分野における「精神病理診断」の最大の武器の一つであるロールシャハテストで、実は統合失調症と発達障害の鑑別が簡単ではない事が明らかにされたと思います。これらの事態は当初に言ったように精神医学の屋台骨が揺らいているものです。精神医学自体を根元に近いところから作り直さないといけなレベルの問題だと思っています。これを私がやりますという意味では決してありません。残念ながら、私に出来ることは問題提起だけです。

院長 構木 睦男

平成27年度介護研究発表会

医療法人 啓仁会 介護老人保健施設 いたうの杜(静岡県伊東市)

3月28日に介護研究発表会を行いました。勤務終了後の17時より職員が集まり開始です。発表者は緊張の面持ちで自分の番を待っているのが伝わってきます。研究内容としては、具体的な介護方法から業務改善、プロテインを使って利用者様の栄養状態が向上するのかなど様々でした。各部署5~7分の発表を終え、質疑応答を行い、ここはどうなっているの? というような疑問、質問が

飛び交いました。最後に施設長、事務長のお言葉を頂戴し、閉会となりました。平成27年度教育・接遇委員長として至らない点も多々ありましたが、総師長をはじめ、他のスタッフの支えもあり、無事研究発表を行うことができました。28年度も教育委員長を任せていただいたので、前年度以上にスタッフ教育、質の向上に努めて参りたいと思います。 4階介護主任 内田 雅貴



盛んな議論で活気ある会になりました

三鷹ロイヤルの丘の春の訪れ

医療法人啓仁会 介護老人保健施設 三鷹ロイヤルの丘 (東京都三鷹市)

この文章を書いている現在は4月上旬です。冷たかった空気もだんだんと和らぎ、少しずつ過ごしやすくなってきたように思います。

その証拠に施設の周りの木々や草花は色鮮やかな花を咲かせ始めています。ここ三鷹ロイヤルの丘の周りは公園が多く、井の頭公園や、野川公園等、自然を楽しめるところがたくさんあります。公園にもたくさんの方が訪れています。

さて、春の花と言えば「桜」なのではないでしょうか。桜は日本古来から存在しており、初めは五穀豊穡を祈っていたと言われていました。そこから今の様な花見という文化が伝わったと言われています。

三鷹ロイヤルの丘の敷地内には桜の木があります。大きな桜の木で、春になるととてもきれいな花を咲かせています。ちょうど、施設の廊下からまっすぐ正面を見ると、窓から桜が見られるようになっています。面会に来られた方も「廊下の窓から見える景色がとてもきれいなね」とおっしゃってくださっています。また、利用者様も窓からず

と桜を眺める方もおり、とても好評です。三鷹ロイヤルの丘の隠れた名所ではないでしょうか。

これを読まれている頃には散ってしまっていますが、是非来年の春にはお越しになり、桜をご覧になってください。職員一同、皆様のご来所をお待ちしています。

リハビリテーション室
リハビリ助手 月井 麻美



三鷹ロイヤルにかかる桜



10分咲きです



特等席からのお花見

ご近所史跡・寺社巡り「所沢市・中氷川神社」

医療法人啓仁会 法人本部 (埼玉県所沢市)

西武線の小手指駅から所沢ロイヤル・ワム・タウンへ向かう路線バスで、更にその先に向かった三ヶ島地区・堀之内のバス停を降りると、小さいながらも木々に囲まれた「中氷川神社」に辿り着くことができます。特別な関心がなければ見過ごしがちな場所なのですが、意外にも紀元前1世紀頃・第10代の崇神天皇の神託により創建されたと伝えられてもいる由緒ある神社でしたので、今回紹介をさせていただきます。

東京や埼玉には「氷川」と名のつく神社が多く存在します。これは、さいたま市・大宮の氷川神社を総本社とした「氷川信仰」の神社群です。今回訪れた中氷川神社は、総本社の大宮氷川神社と奥多摩にある奥氷川神社のほぼ中間に位置することから、この名前が付いたと言われています。

バス停がある広い通り沿いにも入口はありますが、表参道はその反対側になります。両脇を民家に挟まれた小さな鳥居から境内に入ります。正面の拝殿の奥には格子壁で組まれた建物内に小ぶり

な本殿が建っていますが、思った以上に贅沢に彫刻がほどこされているのが意外でした。ここには他の多くの氷川神社と同じく、神話のヤマタノオロチ退治で有名な須佐之男命(スサノノミコト)と因幡の白兔にもでてくる大国主命(オオクニヌシノミコト)が祀られているそうです。

また、本殿裏にはご神木のケヤキが保存されています。残念ながら戦後の暴風雨で倒れて枯れてしまった一部しか残っていないのですが、樹齢1,000年以上であったと伝えられているのが納得できるたたずまいでした。

こうしてじっくりと参詣するのは初めてでしたが、元はこの近辺・三ヶ島村の鎮守であった場所と納得できる、厳かな雰囲気のある場所でした。思いがけない歴史のある史跡は、皆さんのお住まい近くにもあるかもしれません。是非そんな楽しみを探しに散策されてみてはいかがでしょうか。

総務人事部 矢澤 誠



参道から境内を臨む



装飾の豊かな本殿



ご神木のケヤキ



編集後記

熊本地震がまさに現在進行形です。取り敢えず安全な場所にいる我々は、援助したくてもどうすれば良いのかわからない状況が続きます。地震が繰り返される我国で、何回起きても救助のシステムが育たないのは困ったものだと思います。兎に角地震だと陸路の援助がうまくいかないのは明らかですので、ヘリコプターやドロー

ンなどを使った空からの救援を活用すべきだと思います。地震では陸は勿論海さえ危険なものにします。そんな中で空からの援助は恐らく安全な筈です。自衛隊や民間の全てのヘリを動員したシステムが必要です。また報道陣が困っている現場を先に見つけることもありふれた光景でしょう。彼らに物資供給の力を与えないと勿体無い。報道陣も困っている人を見つけ出して

報道するだけでは心が引き裂かれる筈です。彼らは報道する行為で自らを白日の下に晒している訳ですから、悪い事は出来ません。物資を供給出来る力と責任を与えるのが効果的でしょう。また非常に気がかりなのは地震が広がっている状況の中で、唯一稼働中の川内原発がすぐそばにあることです。地震が峠を越すまで少なくとも一時停止して欲しいと願っています(構)。